

明治元十月十八日より明治元年十月十九日まで

P8310795right

太郎出立日限、来月四日と定め日根野へ書面を出す、永持家族明日出立に付、霜糖並駄、菓子天我普、賊半、四椎実などを贈す、前書出立日限は当月内にて致旨談有し趣也、旧婢千代再抱入の積り命じ下総、手当三両遣す、藤、山隠居来る、右同人方へ炭二苞を贈留す西堀長来る、忠奴来る、明日荷物届立の儀申談遣す、岡本、来り大福糕一折持来面せずして帰る

十八日酉 晴

永持家族出立に付、藤山陽、西堀金見送に来り同人は惣名代に頼み見送られ、平山順、上総、出迎として来る、午飯を設く荷船の儀聞繕して出行す、忠奴約により来る、荷物九箇才領を命じ茶代を投ず、且つ過日渡せし荷運賃二円一朱と一メ文不足の趣申聞る

P8310795left

追て償う積り、山本長駿行荷出のため来る、太郎本箱に一函も一同届出を頼む、金蔵、鼻、彈より帰り来る、荷造り荷出の力を助け候、平正順より回、一苞を贈らる、婢千代今日引移る

母同道来り一泊

十九日戌 雨意終日

妻儀荒井(新井)薬師如来へ詣、永持五郎より保三宛雁書届受取、煙草差返りの儀也、墨邸門番家内小兒来り紅梅焼一袋持来菓子料遣す、金蔵来る出立期日を聞て帰る

岡本せき来る今日礫川此方へ引移りによる、渡辺伴より促しの文通来る、両三日を延べ申遣す、礫姑

移持寓居として孫女を携へ鮎一折菓一折、村井媪より大福糕一折贈らる同人並長次夫妻兒とも引続来る旨也、薄晩村田媪と一同移り来る、岡本せき随う酒飯を勧む

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。